

シラバス

教科【 国語 】 科目【 文学国語 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
国語	文学国語	4	4	普通	選択	文学国語(東京書籍)

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習評価規準

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしているか。
思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしているか。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
	【Ⅰ部】		
	1 随筆	「雨月物語」 木内昇	
	2 小説	「山月記」 中島敦	
	3 評論	「言葉を生きる」 若松英輔	
	言語活動	「小説を創作する」	
	4 小説	「沖縄の手記から」 田宮虎彦	
	5 詩歌	「鉄」 三角みづ紀「竹」 萩原朔太郎 「永訣の朝」 宮沢賢治 「モードの変遷」 穂村弘	
	7 評論2	「文学のふるさと」 坂口安吾	
	8 小説4	「鞆」 坂口安吾	
	【第Ⅱ部】		
	1 随筆1	「国語から旅立って」 温又柔	
	2 小説1	「コンビニの母」 森絵都	
	3 詩歌	「平気——正岡子規」 長谷川櫂	
後期	4 随筆2	「空っぽの瓶」 和多田葉子 松永美穂訳	
	5 戯曲	「父と暮らせば」 井上ひさし	
	7 評論	「演技する『私』」 安藤宏	
	8 小説3	「葉桜と魔笛」 太宰治	
	言語活動	「さまざまな資料を調べて発表する」	

4 学習の留意点

・授業態度、発表、提出物、小テスト、定期考査の成績等、総合的に評価する。

シラバス

教科【 国語 】 科目【 国語表現 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
国語	国語表現	3	4	普通	必履	国語表現(大修館書店)

1 学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 学習評価規準

知識・技能	言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げようとしているか。
思考・判断・表現	目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討しているか。
主体的に学習に取り組む態度	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけることで、わが国の文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとらえて他者や社会に積極的に関わろうとしているか。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	【第2部】表現を楽しむ 【第1部】表現力を培う	1 言葉で遊ぶ 1 言葉と出会う ①言葉と表記 ②整った文を書く ③相手に応じた言葉遣い ④わかりやすい文を書く ⑤文のつながり方 2 伝える、伝え合う ①自己紹介ゲーム	
	【第2部】表現を楽しむ 【第1部】表現力を培う	2 無人島で生き残れ 4 自己PRと面接 ①自分を見つめて ②効果的な自己PR ③将来の自分を考えよう ④志望理由を書こう ⑤自己推薦書や学修計画書を書く ⑥面接にチャレンジ 5 メディアを駆使する ①通信文を書き分ける ②電話を使いこなす ③電子メールを活用しよう ⑥メディアと情報	
後期	【第1部】表現力を培う	6 会話・議論・発表 ①相手や場面に応じた会話 ③スピーチをしよう	
	【第2部】表現を楽しむ 【第1部】表現力を培う 読書のひろば 【第2部】表現を楽しむ	11 演説合戦にチャレンジ 3 小論文・レポート入門 ①小論文とは何か ③文章を読み取って書く ⑤発想を広げて書く ⑥レポートを書く ビブリオバトルをしよう 3 日常生活の正しい過ごし方 5 「わが町自慢」のパンフレット作り 6 働く人にインタビュー 10 エッセイを書こう 12 こちら悩み事相談室	

4 学習の留意点

・授業態度、発表、提出物、小テスト、定期考査の成績等、総合的に評価する。

令和7年度 シラバス

教科【 地理歴史 】 科目【 日本史探究 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
地理歴史	日本史探究	4	4	普通科	選択	詳説 日本史 (山川出版社)

1 目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を形成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1部 原始・古代	・原始社会の特色及び古代国家の社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察する。	
	第2部 中世	・中世国家の成立から戦国時代までを学び、中世がどのような時代であったかを、東アジア世界の動向と関連づけて、総合的に考察する。	
後期	第3部 近世	・安土桃山時代及び江戸時代について学び、近世がどのような時代であったかを、国際環境と関連づけて、総合的に考察する。	
	第4部 近代・現代	・ペリー来航から、明治・大正・昭和を経て、平成の現代に至るまで、国際環境と関連づけて、総合的に考察し、世界における日本の立場についての理解と認識を深める。	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
公民	政治・経済	2	4	普通科	必修	高等学校 政治・経済 (清水書院)

1 目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 評価の観点

知識・技能	現代日本における政治・経済の諸課題及びグローバル化する国際社会の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、課題の解決に向けて活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
思考・判断・表現	現実社会の政治・経済の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	より良い社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1章 現代の政治	・民主政治の特質を把握しながら、政治と私たちの関わりについて理解する。 ・基本的人権がどのように確立し、広がっていったのかについて理解する。 ・国際社会に関する問題について、日本が貢献できることについて考察する。	
後期	第2章 現代の経済 第3章 現代社会の諸課題	・経済に関する基本的な概念や理論について理解する。 ・現代社会の諸課題について、政治や経済との関連等に留意しながら、様々な角度(視点)から考察し、出来るだけ客観的な立場に立って、望ましい解決の在り方について検討する。	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

令和7年度 シラバス 教科【 数学 】科目【 数学Ⅱ 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
数学	数学Ⅱ	4	4	普通	選択	新高校の数学Ⅱ(数研出版)

1 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	複素数と方程式	・式の計算 ・複素数と方程式	
	図形と方程式	・点と直線 ・円	
後期	三角関数	・三角関数	
	指数関数・対数関数	・指数関数 ・対数関数	
	微分法と積分法	・微分法 ・定積分	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書（出版社）
理科	生物基礎	2	4	普通	選択Q	高等学校 新生物基礎（第一学習社）

1 目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 評価の観点

知識・技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 2. 生物とエネルギー	・生物は多様であることを理解する。 ・生物が共通にもつ特徴を理解する。 ・原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。 ・現生生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。 ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・代謝には同化と異化があることやATPの役割を理解する。 ・酵素の基本的な特徴について理解する。 ・光合成や呼吸の過程について理解する。	
	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・DNAの基本的な構造を理解する。 ・DNAの半保存的複製を理解する。 ・細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 ・タンパク質の構造について理解する。 ・コドンについて理解する。 ・転写、翻訳について理解する。 ・細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。	
後期	第3章 ヒトのからだの調節 1. からだの調節と情報の伝達 2. 免疫	・血液、組織液、リンパ液について理解する。 ・交感神経と副交感神経について理解する。 ・ホルモン分泌のフィードバック調節について理解する。 ・血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。 ・皮膚や粘膜による生体防御について理解する。 ・免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。 ・自然免疫・獲得免疫のしくみを理解する。 ・二次応答が起こるしくみを理解する。	
	第4章 生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移 2. 生態系とその保全	・植生について理解する。 ・光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。 ・森林の土壌の特徴を理解する。 ・乾性遷移・湿性遷移・二次遷移について理解する。 ・キーストーン種について理解する。 ・絶滅危惧種と人間活動との関係について理解する。	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、実験レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、定期考査を基に総合的に評価する。

令和7年度 シラバス

教科【 体育 】 科目【 体育 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
体育	体育	2	4	全学科	必履修	現代高等保健体育(大修館)

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	体づくり運動	● 体づくり運動(体ほぐしの運動 / 実生活に生かす運動の計画) ※ 新体力テストを含む	
	選択Ⅰ	● 選択Ⅰ(球技:バドミントン) ※ 球技(ネット型)	
	選択Ⅱ	● 選択Ⅱ(陸上) ※ 陸上(持久走)	
後期	選択球技Ⅲ	● 選択Ⅲ(球技:ミニバレーボール) ※ 球技(ネット型)	
	選択球技Ⅳ	● 選択Ⅳ(球技:卓球・フットベースボール) ※ 球技(ネット型・ベース型)	

4 学習の留意点

授業観察、ノート・ワークシート、課題レポート、小テスト、単元テスト、考査等を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書（出版社）
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	4	普通	選択	VISTA English CommunicationⅢ(三省堂)

1 学習目標

1. 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
2. 日常的な話題について、英語で聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。

2 学習評価規準

知識・技能	外国語の音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどについて理解を深め、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことにおいて、目的や場面・状況などに応じて適切に使用できる技能を身につけている。
思考・判断・表現	目的や場面・状況に応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で概念や要点を理解できる。話し手や書き手の意図を理解でき、また適切に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとしている。

3 学習計画と学習内容

	学 習 項 目	学 習 内 容	備 考
通 年	LESSON 1 English as an International Language	世界で使われる英語について歴史や言語間での影響について学ぶ (動詞のbe動詞・一般動詞)	
	LESSON 2 Digital Art	技術の進化にともなうデジタルアートの無限の可能性について学ぶ (現在完了形)	
	LESSON 3 Sports Unite People for Peace	内戦が続く南スーダンでスポーツがもたらす結束と平和について学ぶ (受け身)	
	LESSON 4 Let's Have a Picnic!	ピクニックの語源や歴史とそれがもたらす健康効果について学ぶ (動名詞・不定詞)	
	LESSON 5 Dresden Elbe Valley	世界遺産に登録される価値と生活する人々との関係について学ぶ (関係代名詞・関係副詞)	
	LESSON 6 Flowers from Life	「いのちの花プロジェクト」に込められた高校生たちの思いについて学ぶ (名詞を修飾する分詞)	
	LESSON 7 Global Refugee Crisis	世界が抱える難民問題の実態を知り、世界各国の対応について学ぶ (比較級・最上級)	
	LESSON 8 Dream Bigger, Go Farther	北海道にある電気会社社長のスピーチから若者へのメッセージを学ぶ(形式主語it)	
	ENJOY READING!1 The Little Prince	サン＝テグジュペリの「星の王子さま」を読み、名作を英語で読む楽しさを知る	
	ENJOY READING!2 After Twenty Years	O・ヘンリーの「20年後」を読み、名作を英語で読む楽しさを知る	

4 学習の留意点

各考査の成績、ワークシートなどの提出物、発表、出席状況、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

シラバス 教科【外国語】科目【論理・表現Ⅰ】

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書（出版社）
外国語	論理・表現Ⅰ	2	4	普通 機械 電気	選択	VISTA Logic and Expression Ⅰ（三省堂）

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を伸ばす。具体的言語活動は次の通り。

ア、与えられた条件を合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。

イ、主題を決め、様々な種類の文章を書く。

ウ、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。

エ、多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめたり、相手を説得するために意見を述べ合う。

2 学習評価規準

関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している

3 学習計画と学習内容

	学 習 項 目	学 習 内 容	備 考
通 年	LESSON 1 Bouldering? How nice!	共感を示しながら自分のことを紹介することができる 現在形（be動詞／一般動詞）	
	LESSON 2 Famous People	興味のある歴史上の人物について発表することができる 過去形（be動詞／一般動詞）	
	LESSON 3 Aquarium Adventure	今していることをSNSで送ることができる 現在進行形／過去進行形	
	LESSON 4 My Summer Plan	夏休みの予定を話すことができる 未来表現（will／be going to）	
	LESSON 5 UFO Sightings	自分の経験したことを紹介することができる 現在完了形①（経験／継続）	
	LESSON 6 Homestay	ホストファミリーへメールを書くことができる 現在完了形②（完了／現在完了進行形）	
	LESSON 7 Which is faster?	比較クイズをすることができる 比較（比較級／最上級／as … as ～）	
	LESSON 8 Great Inventions	すぐれた発明品について発表することができる 助動詞①（can／may）	
	LESSON 9 Save the Earth	環境問題についてホームページを作ることができる 助動詞②（must／have to／should）	
	LESSON 10 Masterpiece	さまざまな芸術作品について話すことができる 受動態	
	LESSON 11 My Future Job	自分がなりたい職業について発表することができる 不定詞①（名詞的用法）／動名詞	
	LESSON 12 World Heritage	世界遺産を紹介するホームページを作ることができる。 不定詞②（副詞的用法／形容詞的用法）	
	LESSON 13 Pictogram	ヒストグラムについて会話することができる 分詞（現在分詞／過去分詞）	
	LESSON 14 Cool Japan	日本文化を海外へ発信することができる。 関係代名詞	
	LESSON 15 What's SDGs?	国際協力についての意見・感想を書くことができる 仮定法（If ～／I wish ～）	

4 学習の留意点

各考査の成績、ワークシートなどの提出物、発表、出席状況、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

令和7年度 シラバス

教科【 家庭 】 科目【 フードデザイン 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
家庭	フードデザイン	2	4	普通	選択	フードデザイン Food Changes LIFE(教育図書)

1 目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	健康と食生活 栄養素と食品 食品の選択と 取り扱い 調理してみよう	・食事の意義と役割 ・食を取り巻く現状 ・栄養素と消化・吸収 ・食品とその特徴 ・食品選択のコツ ・食の安全を考えて選ぼう ・なぜ調理するのか ・調理操作と調理器具	・各栄養素のはたらき ・何をどれだけ食べる？ ・食品の衛生と安全
後期	実践編 献立と調理 各国料理と コーディネート 食育と食育推進活動	・献立を立ててみよう ・調理実習 - 和風献立 - 中国料理 ・料理の様式 ・テーブルコーディネート ・食育推進の取り組み ・食と環境について考えよう	- 洋風料理 - 多国籍料理 ・食文化を見つめる

4 学習の留意点

学習活動への参加状況(出席状況、学習態度、意見発表等)やファイルや課題の提出、実習時の態度と取り組む姿勢をもとに、総合的に判断する。